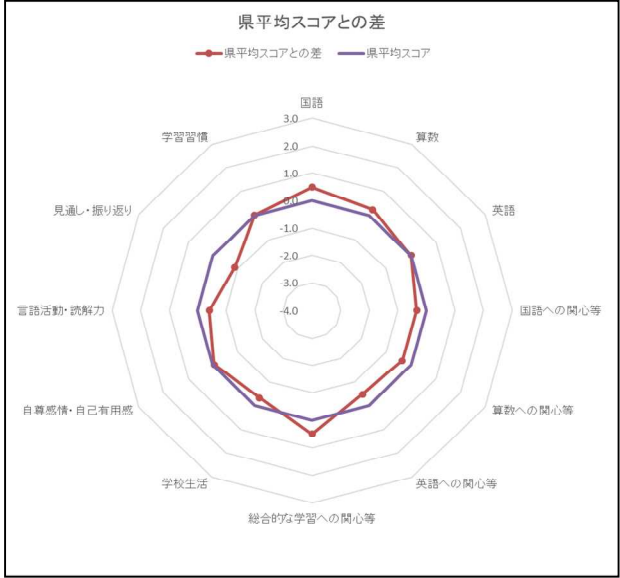


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立川津小学校)

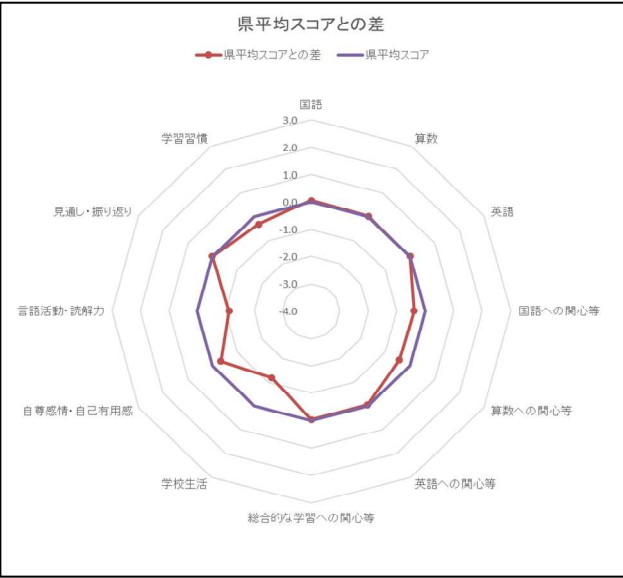
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○漢字の読みや、ローマ字については理解力が定着してきている。 ○感想を書いたり、要約したりしたりする学習の成果が表れ、書く力がついている。 ●意味を理解して漢字を書くことが難しい。 ●時間配分に課題が見られる。	・図書館司書の協力で何年も続けている「新聞プリント」の取組を継続し、自分の考えをまとめたり条件に合った文章を書いたりする経験を積み重ねていく。また、その中で、時間内に書ききる力をつけていく。 ・同音異義語を意識させる学習や、文章の中で漢字を正しく使えるようにする指導を充実させる。
	算数	○島根県、松江市よりも平均正答率がよい。 ○基本的な四則計算はしっかりと定着している。 ●異分母分数の計算や小数の意味理解に課題がある。 ●図形の定義を理解し、作図する学習が苦手である。	・小数の大きさなどの意味理解を図る。そのためにも、説明をしたり、理由を考えたりする学習を充実させていく。 ・図形の作図など、既習の学習を復習する機会をつくり、定着させていく。
6年	国語	○5年時よりローマ字を書き取り会に毎月出題した結果、県平均より21ポイントも上回った。 ○グループ学習で話し合いの仕方を学んできた成果が表れている。 ●既習の漢字の定着が不十分な面が見られた。 ●読み取った内容をまとめる力に課題が見られる。	・「新聞プリント」を継続し、文章をまとめる力や、社会科と関連付けて資料を読み取る力をより定着させていく。その際、お手本を示したり、模範解答を視写したりして、書き方の理解を図っていく。 ・漢字の課題に取り組ませたり、ふだんから文章の中に漢字を使うことを意識づける。
	算数	○基礎的な計算技能は定着している。 ○速さの公式や縮尺を活用する問題やグラフを読み取る問題に強みを感じられる。 ●計算のきまりが身についていない。 ●言葉や式を使って考え方を説明する力が不十分である。	・四則が混ざった計算を5分間プリントなどを利用して取り入れ、定着を図る。 ・授業で言葉を使って表現したり、式と言葉をつなげて説明したりする経験を低学年から積み上げていく。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



6年



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	67	63
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 88 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	52	59
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 89 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○授業で「調べ学習」を行っている割合が県平均に比べて高いことと、図書館を使って授業をすることを好んでいる児童が多いことから主体的な学習が定着しつつあるといえる。 ●授業の内容が「よく分かる」と回答した児童が県平均を下回ったことから、苦手意識を取り除くための授業改善が必要である。	・「めあて」を示し、それに対応した「振り返り」を必ず行い、学んだことが定着するようにする。 ・学習規律がきちんと守られ、意欲をもって学習できる環境をつくる。
	家庭学習に関わる事項	○家で授業の復習をしている児童が県平均を少し上回っている。 ○平日10分以上読書に取り組んでいる児童の割合も高い。 ●家で誰かにも自分から勉強している児童の割合が、県平均を下回っている。	・学校で身に着けた主体的な学習が家でもできるように、宿題の出し方や、自主学習の取組について工夫をしていく。 ・児童の提出した宿題は、より丁寧に見返すようにして、成果や課題を本人にしっかりと伝えていくようにする。
6年	授業改善に関わる事項	○ノートにめあてとまとめを書いている、学習規律が守られていると思うと回答した児童の割合が高い。 ●「グループでの調べ学習」「話し合う活動」が県平均を下回っていて、対話的な学習に課題があるといえる。	・総合や社会科では、調べたことをまとめて発表するグループ学習を意識的に取り入れていく。 ・ペアやグループの話し合いの仕方を、マニュアルを活用しながら学べるようにする。
	家庭学習に関わる事項	○平日10分以上読書に取り組んでいる児童が多い。 ○携帯電話の使用時間は県平均より少ない。 ●復習をする児童や、1時間以上家庭学習をする児童が県平均より少なく、家庭学習の量ややり方に課題がある。	・ある程度の量の宿題を出すようにし、それに対してより丁寧に見返して、成果や課題を個別に伝えていくようにする。 ・自学ノートの良い取組を紹介し、目標をもって取り組むことができるようにする。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

